

JSPS Information

- ◇日本惑星科学会入会案内
- ◇第7回運営委員会議事録
- ◇第2期役員名簿
- ◇賛助会員名簿

◇日本惑星科学会入会案内

「日本惑星科学会」は平成4年4月に発足しました。新学会の設立目的は、まず惑星科学それ自体の振興にあります。旧来分野の垣根を取り払い、相互理解や情報交換を積極的に進め、また、異なった手法、異なった対象の研究を集約し総合的な視点にたって惑星科学を推進することが第一の目的です。また、本格的な惑星探査の時代を迎え、日本の惑星科学界全体として直接、間接に探査計画を支え、さらには将来の探査計画を立案すべく、新学会がその組織化をはかることも重要です。同時に、惑星科学研究の国際的な共同計画に日本の応分の負担と協力が求められている現在、新学会が力量を高め、国際的な窓口としての役割も果たすことになると思われます。更には、惑星科学の成果を社会に還元したり、また、中・高校生など若い人材を惑星科学に勧誘するための広報活動も新学会の重要な責務です。

このような日本惑星科学会設立の主旨にご賛同くださり、今後の惑星科学の発展をともに担う広範な分野の方々の入会をお待ちしています(会則は創刊号に掲載されています。また第2期役員名簿

は本誌162ページに掲載されています)。

入会の方法は下記の通りです。

年会費：6,000円(但し、学生会員は4,000円)

入会手続：

- (a)入会申込書(本誌巻末に綴込まれています)にご記入の上、事務局にご送付下さい。
- (b)運営委員会において入会が認められますと、事務局より入会受理のお手紙を差し上げます。
- (c)その後、(財)日本学会事務センターより年会費請求書が送付されます。請求書に従って年会費をお振り込み願います。なお、入会受理より年会費請求まで遅延があります(最大2ヶ月程度)が、会員としての権利は入会受理と共に発生します。

事務局：

〒152 東京都目黒区大岡山2-12-1

東京工業大学 理学部 地学内

TEL：03-3720-9885；FAX：03-3727-4662

〒113 東京都文京区本駒込5-16-9

(財)日本学会事務センター

TEL：03-5814-5801；FAX：03-5814-5820

◇日本惑星科学会第7回運営委員会議事録

開催日時：1993年7月3日（土）14:00～17:40
 開催場所：東京工業大学理学部西3号館7階707号室
 出席者：中沢・水谷・武田・川口・北村・佐々木・杉浦・高木・土山・留岡・藤原・村江・山本（以上出席者）・荒川・大谷・寺沢・福岡・藤井・松井・向井・柳川・矢内（以上委任状）・井田・中川・田近（以上オブザーバー）

1. 報告

(1)第5回地球惑星関連学会連絡会（学会連合等部会委員）

第5回連絡会が4月20日、国立博物館で開催された。'93合同大会総費分担金として51,100円の請求がきていること、合同大会を海外で行うことの是非、WPGMとの合体、合同大会の秋期開催などが議論されていること、が報告された。

(2)WPGM（中澤会長）

6月始めにAGUの会長よりWPGM（Western Pacific Geophysics Meeting）の共催要請があり、返答時期がせまっていたため、水谷副会長とも相談の上、共催要請を受けることにした。その際プログラム委員選出の要請もあり、阿部豊会員（東大・理）を推薦した。

(3)学術研究団体登録申請（中澤会長）

6月末日がメ切であった同登録申請を学術会議に対して行った。本来3年間の活動実績が必要であり、それ故結果は微妙である。なお関連研究連絡委員会としては地球物理学研連、天文学研連の2つをあげた。

(4)財政状況について（杉浦財務専門委員長）

杉浦委員長より収入状況等の説明があった。一

般会費は比較的順調に入金されているが、賛助会費については未だ約20万円程度であること、支出見込みは第1回総会で了承されたものから大幅に変わっていないことなどが報告された。

2. 議事

(1)委員会成立の確認

委員会成立を確認した上で、土山委員を書記に選んだ。

(2)役員（会計監事）の委嘱

第6回運営委員会で推薦、第1回総会で了承された会計監事候補、中野武宣会員（国立天文台）、松田准一会員（阪大・理）両氏の監事候補者公示の結果、会員からの異議はなく両氏に監事をお願いすることとなった。

(3)専門委員会委員の委嘱

第2期専門委員会委員候補が各専門委員長より推薦され、原案通り了承された。対外協力専門委員会委員については松井委員長の学外出張のため、同委員会委員は次回運営委員会で決めることにした。第2期の各委員会委員は以下の通り。

総務専門委員会

委員長：藤原 顕（宇宙研）

委員：福岡 孝昭（学習院大・理）

中村 昭子（宇宙研）

財務専門委員会

委員長：杉浦 直治（東大・理）

委員：川口淳一郎（宇宙研）

三浦 保範（山口大・理）

柳川 弘志（三菱化成）

編集専門委員会

委員長：向井 正（神戸大・理）
 幹事：井田 茂（東工大・理）
 委員：荒川 政彦（北大・低）
 大谷 栄治（東北大・理）
 坂本 尚義（筑波大・地科）
 佐々木 晶（東大・理）
 中川 義次（東大・理）
 渡部 潤一（国立天文台）
 佐々木 進（宇宙研）
 早川 雅彦（宇宙研）
 海老原 充（都立大・理）
 松島 弘一（航空宇宙技研）
 小林 憲正（横浜国大・工）
 高木 靖彦（東邦学園短大）
 加藤 学（名古屋大・理）
 土山 明（阪大・教養）
 村江 達士（九大・理）

将来計画専門委員会

委員長：留岡 和重（神戸大・理）
 委員：海老原 充（都立大・理）
 大谷 栄治（東北大・理）
 加藤 学（名古屋大・理）
 川口淳一郎（宇宙研）
 土山 明（阪大・教養）
 林 正彦（東大・理）
 藤井 直之（名古屋大・理）
 渡邊誠一郎（名古屋大・理）
 山本 哲生（宇宙研）

対外協力専門委員会

委員長：松井 孝典（東大・理）
 企画部会部会長：佐々木 晶
 委員：阿部 豊（東大・理）
 永原 裕子（東大・理）
 三沢 啓司（極地研）

渡部 潤一（国立天文台）

学会連合等部会

部会長：中川 義次（東大・理）
 山本 哲生（宇宙研）

(4)秋期シンポジウム開催

本会独自のシンポジウム、学会講演会等開催の是非について議論した結果、学会講演会の形で2日間程度開催することにした。これに関連して以下の通り、基本方針を決定した。

- (a) 時間的な問題があるので、今年に限りプログラムのみ作成・配布し、予稿集は発行しない。アブストラクトは学会誌「遊・星・人」第2巻第4号（12月25日発行予定）に掲載する。
- (b) 会場に関しては、神戸大・阪大・京大の順で事務局から打診する。
- (c) プログラムは企画部会で検討・作成する。

(5)学会誌編集・印刷

井田編集委員会幹事より、編集・印刷の経費削減と作業迅速化のため、印刷方式及び印刷会社を変更することについて刷上り見本、見積書等の資料をもとに説明があり、種々検討の結果、井田幹事の原案通り変更することが承認された。

(6)次期合同大会

- (a) 次期合同大会の本会選出プログラム委員として、松涛聡会員（東北大・理）、大槻圭史会員（山形大・理）に依頼することになった。
- (b) 共通セッション、シンポジウムの提案に関しては、“小惑星”をシンポジウムとして出すことを考える。また共通セッションとして“月の起源”に関するものを行いたいとの意見が出された。

- (c) 欧文合同誌に関しては、今後の推移をみながら対応する。

(7)賛助会員の処遇

現会則では賛助会員の権利・義務についてあまりはっきりした規定もないため、細則で明確化することを総務委員会を中心に検討することにした。また賛助会員向けのシンポジウムを行うことを考えてはどうかとの意見も出された。

(8) 科研費時限細目「惑星科学」の恒常化

この細目が来年度で3年目となり、時限の最終年度を迎える。恒常化に向けて学会としてどのように対応するのかについての議論がなされ、以下の通り確認された。

- (a) 申請実績を上げるために各会員に要請する。
- (b) 恒常化に際して、部門、分科、細目は経緯をみながら判断する。
- (c) 「惑星科学」で採択された課題について今回に限って、シンポジウムを行う。
- (d) 他学会に“恒常化”を呼びかける。

(9) シンポジウム後援依頼

北大・低温研主催で定期的にシンポジウムが開

催されることになった。このシンポジウムに対し日本惑星科学会が協賛して欲しい旨、香内会員（北大・低温研）より依頼がきており、これを了承した。

(10) 年間スケジュール

今後の運営委員会開催日程について議論した結果、

秋の学会（10月） 春の合同大会（3月）
の2回ですますよう努力することで了承された。

(11) その他

- (a) 地球惑星関連学会連絡会のニュースレターの配布につき多少混乱があるので、今後の配布方法等につき連絡会に問い合わせることとなった。
- (b) 本会ニュースレターを定期発行する方向で体制を整備することにした。

◇日本惑星科学会第2期役員名簿

会 長

中澤 清 (東工大・理)

副会長

武田 弘 (東大・理)

水谷 仁 (宇宙研)

監 事

中野 武宣 (天文台)

松田 准一 (阪大・理)

運営委員・幹事・財務専門委員長

杉浦 直治 (東大・理)

運営委員・幹事・総務専門委員長

藤原 顕 (宇宙研)

運営委員・編集専門委員長

向井 正 (神戸大・理)

運営委員・将来計画専門委員長

留岡 和重 (神戸大・理)

運営委員・対外協力専門委員長

松井 孝典 (東大・理)

運営委員

荒川 政彦 (北大・低温研)

大谷 栄治 (東北大・理)

川口淳一郎 (宇宙研)

北村 雅夫 (京大・理)

高木 靖彦 (東邦学園短大)

土山 明 (阪大・教養)

寺沢 敏夫 (東大・理)

林 正彦 (東大・理)

福岡 孝昭 (学習院大・理)

藤井 直之 (名古屋大・理)

村江 達士 (九大・理)

柳川 弘志 (三菱化成)

矢内 桂三 (極地研)

山本 哲生 (宇宙研)

運営委員・企画部会長

佐々木 晶 (東大・理)

学会連合等部会長

中川 義次 (東大・理)

◇日本惑星科学会賛助会員名簿

1993年8月25日までに、賛助会員として本学会に御協力下さった団体は下記の通りです。社名等を掲載し、敬意と感謝の意を表します (五十音順)。

(株)大林組

清水建設(株)宇宙開発室

(株)ジュンテンドー

(株)竹中工務店

(財)日本宇宙少年団

日本電気(株)宇宙開発事業部

(株)日立製作所

富士重工(株)航空宇宙事業本部

(株)本田技術研究所

(株)三菱重工

(株)三菱プレシジョン

(財)リモートセンシング技術センター